

平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 自主・自律・貢献の精神を涵養し、グローバル社会の変化に主体的に対応して、納得して自らの人生を形成できる活力溢れる人材を育成する。
1. 変化する社会を自分の視点で捉え直し、考えが異なる相手にも論理的に意見を主張し、共通の合意を見出すコミュニケーション能力を育成する。
 2. 自己実現を図る進路目標の設定と希望進路の実現必達を支援する。
 3. 学校行事や部活動等の幅広い体験を通して、知・徳・体の調和のとれた人格を陶冶する。

2 中期的目標

1 「授業で勝負」の理念で、「21世紀型学力」の育成に挑戦

授業力向上の取組みを学校組織として継続するとともに、2014年12月の中教審答申の問題意識を視野に入れ、教科指導の質的進化を図っていく。

- (1) 「アクティブ・ラーニング」型授業の研究・取組みを推進する。
- (2) ICT活用を含めた魅力ある授業づくりを通し、全教科で一層「わかる授業」を展開する。
- (3) 知識・技能の定着に加え、発展的学力（思考力・判断力・表現力）や「学び続ける力」を育成する。
 - ア 土曜講習や少人数展開授業を充実させ、着実な基礎知識・技能の習得を図る。
 - イ 朝読書、総合的な学習の時間・HR等を活用して言語活動の充実、論理的思考力・課題解決力の育成を進める。
 - ウ 生徒の学びのモチベーションを高め、自学自習の習慣を定着させる指導方法を確立する。

* 学校教育自己診断において、授業の理解度・満足度ともに、平成29年度までに85%をめざす。(26年度：理解度75%・満足度74%)

* 授業評価アンケートの自学自習項目の肯定率：平成29年度までに3.0ポイント(満点4.0)をめざす。(26年度2.59ポイント)

2 「志」の育成と生徒全員の進路保証実現

学ぶための「志」を育成し、目標に対して安易な妥協をさせない進路指導を実施する。

- (1) キャリア・ガイダンスを充実させ、「志学」の内容として高大連携企画（府立高校教職コンソーシアムなど）や社会人連携授業を推進する。
- (2) 生徒の知的好奇心・関心を育成する。（「大阪大学基礎セミナー」推進等）
- (3) 進路指導年間計画の充実と、豊富な進路指導情報の提供に注力する。

* 学校教育自己診断における、進路関係項目の肯定率を平成29年度までに90%をめざす。(26年度平均84%)

* 平成29年度までに、3年生の国公立大学受験者60%以上、合格者30%以上をめざす。(26年度受験者45%)

3 総合的な「人間力」育成

- (1) 基本的生活習慣と規律規範意識を確立させる。
- (2) 学習と部活・学校行事を両立させる生徒を育成する。
- (3) 平成27年度より朝読書スタート、読書指導強化、図書館利用を促進する。
- (4) 教育相談体制・活動を充実させる。
- (5) 国際理解教育推進、実践的英語力の向上を図る仕組みを構築する。

* 学校教育自己診断における「勉強と部活の両立」の肯定率を平成29年度までに80%まで上昇させる。(26年度60%)

* 平成29年度までに月2冊以上読書する生徒の比率を80%にする。(26年度25%)

4 本校教育に対する理解を獲得する①学校施設の改修・整備推進、及び②情報発信・広報活動の充実

- (1) 生徒・保護者要望を入れた具体的な設備改修計画の策定とその実施。
- (2) 学校HPの発信頻度アップ、学校広報の内容充実を図ると共に、ネット（携帯・スマホ）リテラシーを啓蒙する。
- (3) 学校説明会、学校見学会、体験入学、学校外での説明会等、特に中学生生徒に向けた広報活動を充実させる。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成27年12月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校に行くのが楽しい」生徒は85%で、水準に問題はない。 ・授業に関する質問の肯定率は過去4年間で顕著な改善。(例)「授業はよく理解できる」67%⇒70%⇒75%⇒76%、「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」32%⇒43%⇒47%⇒56%、「教え方に工夫をしている先生が多い」50%⇒58%⇒69%⇒74%。「ビデオ、スライドなどの視聴覚教材やコンピュータなどを使う機会が多い」43%⇒48%⇒68%⇒82% ICT活用も含め、多くの教員が授業の質向上に取り組んだ効果が顕在化。 ・「勉強と部活動の両立ができていく」の推移は、55%⇒59%⇒60%⇒63%と向上するが、目標(70%)に達せず。「自主学習の方法について何をどのようにすれば良いのか理解できていく」は65%。早い段階から学習に関するガイダンス機能を充実させ、自学自習定着を図ることが課題。 ・「校長先生の考えや話は興味深く、よくわかる」は、42%⇒70%⇒76%⇒77%と増加傾向。 ・肯定率が低い、危機管理体制(防災)に関しては、もう一段の取組みが必要。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・88%の保護者が「お子様は、学校に行くのを楽しみにしていると回答。 ・学校の相談体制や施設・設備に関する肯定率が低い。継続的に取り組むべき課題。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「指導内容を他の教科と話し合う機会がよくある」の肯定率が低い(38%) ・校長の教育理念の明確化(肯定率96%)、校長のリーダーシップ(87%)と合わせて、学校運営面は安定した水準。 	<p>【第1回】(平成27年7月1日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アクティブ・ラーニングについて <ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者にも理解してもらうように、情報発信を継続してほしい。 ○進路指導について <ul style="list-style-type: none"> ・どういう社会人として世の中を構成するかという視点を持ち、将来(大学の先)を見据えて様々な経験をさせながら、進路決定させる池田高校の教育方針に賛同する。 ・単に偏差値だけで大学を選択するのではなく、その大学が何をめざしているかを意識して、志望校を決定させてほしい。 ○豪州と英国の語学研修について <ul style="list-style-type: none"> ・内容が優れて頼もしい新企画である。生徒に情報発信をして積極的にアピールしてほしい。 ○心のケアの高・大連携について <ul style="list-style-type: none"> ・大学としても、健全な学生を育成していくことが任務なので、申し出があれば協力したい。 <p>【第2回】(平成27年11月13日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝読について <ul style="list-style-type: none"> ・社会性を高める目的で、読む本を指定するような方法もあるのではないかと。 ○高大連携について <ul style="list-style-type: none"> ・大学はAO入試なども含め、新しい高大連携に取り組んでおり、高校生も意識してほしい。先日1年生50名が大阪大学を見学したが、今後2、3年生も含め連携できる機会を増やしたい。 <p>【第3回】(平成28年2月2日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書は自分と対話する機会を持つ観点から、人間形成上大変意義がある。 ・池田高校卒業生の母校に対する評価は高いが、その評価を外部の人に認識してもらう広報活動に力をいれて欲しい。 ・防災対応について一層の周知徹底と訓練を検討してはどうか。

3 本年度の取組内容及び自己評価

府立池田高等学校

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
二十一世紀型学力育成に挑戦	<p>(1) アクティブラーニング型授業推進</p> <p>(2) ICT活用と「わかる授業」の展開</p> <p>(3) 知識・技能の定着、発展的学力や学び続ける力の育成。</p> <p>ア 土曜講習や少人数展開授業の充実</p> <p>イ 言語活動の充実、論理的思考力・課題解決力の育成を進める。</p> <p>ウ 生徒の自学自習の習慣を定着させる指導方法確立。</p>	<p>(1) アクティブラーニング型授業の推進</p> <p>① 授業力向上PTを解散し、教科指導研究委員会(仮称)を立ち上げる。学校組織として一層の「授業改善」に向けた活動を推進。</p> <p>② アクティブラーニング先進校への教員派遣</p> <p>③ 生徒の授業への参画意識を促進する指導の工夫・改善。</p> <p>(2) ICT活用と「わかる授業」の展開</p> <p>① ICT利用教員の増加、利用頻度アップ、そのためのICT環境の一層の整備</p> <p>② 教科毎にテーマを定めた授業研究実施</p> <p>③ 教員間の授業相互見学推進、およびICT活用授業公開期間設定</p> <p>④ 教員が授業研究に集中できる時間捻出(業務見直し・負荷軽減)。</p> <p>⑤ 1学期末と2学期末の授業評価に課題がある教員は授業改善シートを活用し改善に努める。</p> <p>(3) 知識・技能定着、発展的学力・学び続ける力の育成</p> <p>① 定期的な家庭学習量調査により、家庭学習量適正化を図り、自己学習時間をアップさせる。(1年:1.5時間、2年:2時間目標)</p> <p>② 定期考査、小テスト、学習生活実態調査、模擬試験結果等を学年及び教科が共有して学習指導を効率的に推進。又、1、2年生において平素授業態度、宿題提出状況、小テスト結果等を保護者向けに通知(保護者懇談会)。</p> <p>③ 土曜講習の実施、教育産業のMOOCを活用した土曜ゼミの充実を図り、年間を通じた計画的補習を実施する。</p> <p>④ 英数の少人数授業の充実、習熟度別展開による効果向上を図る</p> <p>⑤ 論理的思考を学ばせる教材を活用、筋道が通った伝え方、小論文の作成力等を習得させる</p> <p>⑥ チューター制度により自習室の活用を更に推進、平日の夜間(放課後~19:30)土曜日(9:00~16:00)に開室する。</p> <p>⑦ 自学自習に繋がるような、生徒に対する効果的な課題の提示方法を研究</p>	<p>(1) アクティブラーニング型授業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニング先進校への教員派遣4名以上 ・学校教育自己診断生徒アンケートの「自分の考えをまとめたり、発表することが多い」の肯定率60%以上(前年度47%) ・授業評価アンケート 授業の「興味・関心」「理解度」の目標3P以上(4P満点) <p>(2) ICT活用と「わかる授業」展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用教員目標60%以上(前年度57%) ・3年生教室にもプロジェクター設置着手(1~2年教室は設置完了) ・2回目授業評価で、授業理解度項目3P以上の教員数65%以上(前年度62%) ・教員相互の授業見学回数平均2回以上。 ・ICT授業公開5日間以上 ・学校教育自己診断における授業理解度項目肯定率:80%以上 授業満足度項目肯定率:80%以上 <p>(3) 知識・技能定着、発展的学力・学び続ける力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習時間前年比20分増加 ・学校の土曜講習出席者目標:2年、3年各250名以上 ・1年生全員に作成指導のうえ、小論文提出を義務付け ・授業評価アンケート自学自習2.7P以上(前年2.56P) 	<p>(1) アクティブラーニング型授業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進校教員派遣7名(◎)内訳: 広島県立廿日市高等学校(3名) 東京都立両国高等学校(3名) 桐蔭学園高等学校(1名) ・学校教育自己診断(生徒)「自分の考えをまとめたり、発表することが多い」の肯定率:56%(△) ・授業評価アンケート:授業の「興味・関心」(3.04P)、授業の「理解度」(3.05P)(○) <p>(2) ICT活用と「わかる授業」展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用教員:72%(◎) ・全教室プロジェクタ設置完了(○) ・2回目授業評価アンケートで、授業理解度項目3P以上の教員数:68%(◎) ・教員相互の授業見学回数平均2回以上達成(○) ・ICT授業公開:9日(◎) ・学校教育自己診断における授業理解度項目肯定率:76%(△) 授業満足度項目肯定率:67%(△) <p>(3) 知識・技能定着、発展的学力・学び続ける力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習時間前年比:1年5分減、2年15分増(休日:2年19分増)(△) ・学校の土曜講習出席者: 2年360名、3年260名(◎) ・1年生全員にビブリオバトルの中で全員発表原稿を提出させたうえでプレゼン終了(○) ・授業評価アンケート(生徒)自学自習:2.61P(△)
	十五の育成と全員希望進路実現	<p>(1) キャリアガイダンスの充実</p> <p>(2) 知的的好奇心・関心の育成・向上を図る</p> <p>(3) 進路指導の充実</p>	<p>(1) キャリアガイダンスの充実</p> <p>① 適切な進路指導の推進を図る。1年総合学習、2・3年LHRにおいて、大学見学会、学部学科説明会、大学説明会、社会人講話、教育実習生との懇談会等を実施。(1年20時間、2、3年8時間)</p> <p>② 国公立志向の進路希望・意欲の持続を図るとともに難関大学に挑戦する生徒を増やす。</p> <p>③ 3年生の進路実現のための特別講習の充実。</p> <p>(2) 知的的好奇心・関心の育成</p> <p>① 学力生活実態調査及び校内模試の実施。</p> <p>② 府立高校教職コンソーシアム活用</p> <p>③ 阪大学基礎セミナーの受講促進。</p> <p>④ 学校長の新入生向け講話(ガイダンス)実施、学習意欲・方法に関する示唆を与える。</p> <p>(3) 進路指導の充実</p> <p>① 自習室チューター制度の定着(卒業生による自習支援)</p> <p>② 3年生の進路実現のための特別講習充実</p>	<p>(1) キャリアガイダンスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター試験における国公立型受験者55%以上、合格者23%以上 ・学校教育自己診断の進路関係項目の生徒肯定率80%以上 ・学校教育自己診断の「進路に関する情報提供」に対する保護者の肯定率80%以上 <p>(2) 知的的好奇心・関心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府立高校教職コンソーシアム・オープンスクール生徒参加目標40名 ・大阪大学基礎セミナー受講者6名以上 <p>(3) 進路指導充実</p> <p>①チューターを50日以上配置。</p> <p>②生徒アンケートを踏まえた特別講習内容の充実</p>

府立池田高等学校

<p>総合的な「人間力」育成</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣の確立、規範意識向上</p> <p>(2) 学習と部活・行事の両立</p> <p>(3) 朝読書推進</p> <p>(4) 教育相談体制・活動の充実</p> <p>(5) 国際理解教育推進、実践的英語力向上</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣・規範意識向上</p> <p>① 遅刻指導の取組み。 登校指導週間の実施や早朝指導等を行い、遅刻数の減少をめざす。</p> <p>② 挨拶励行の取組み。 特に担任・部顧問を中心に指導取組み。</p> <p>③ 通学マナー指導、事故の減少に取り組む。</p> <p>④ 近隣地域と連携して、清掃活動に取り組む。</p> <p>(2) 学習と部活の両立</p> <p>① 学習と部活の両立に向けた対策の策定・推進</p> <p>② 部活の活性化、生徒の活躍を推奨。</p> <p>(3) 朝読書の推進</p> <p>① 朝読書実施要項作成、それに基づく朝読書の意義の周知と生徒全員が集中する環境づくり。</p> <p>② 図書室利用の推進</p> <p>③ 生徒の読書を促す施策の提示</p> <p>(4) 教育相談の充実</p> <p>① HP等を活用、教育相談体制やスクール・カウンセラー相談日を周知徹底する。</p> <p>② 教育相談委員会を年間10回実施、情報共有化。</p> <p>③ 各学年とも各学期1回以上の定期連絡会実施。</p> <p>(5) 国際理解教育推進</p> <p>① 従来のオーストラリア語学研修に加え、更に上の実践的英語力を磨くロンドン語学研修を新規に開始。</p> <p>② 1年生対象に国際理解教養講座を実施。</p> <p>③ ALTとの英会話ランチミーティング。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣・規範意識向上</p> <p>・年間遅刻件数目標：2500件以下</p> <p>・学校教育自己診断の教員の生活指導関係項目肯定率75%</p> <p>・日々の清掃に加え、年間6回の特別清掃を実施</p> <p>・地域と連携した清掃活動を2回以上設定</p> <p>(2) 学習と部活の両立</p> <p>・学校教育自己診断における「勉強と部活の両立」の肯定率： 生徒・保護者各70%以上</p> <p>・部活動加入率目標90%以上</p> <p>・毎年団体又は個人で近畿大会以上の出場を果たす</p> <p>(3) 朝読書の推進</p> <p>・月間平均2冊以上読書する生徒の比率を50%以上にする</p> <p>・図書室貸出冊数前年比20%増加</p> <p>・年度末生徒アンケートで朝読書の肯定率を70%以上にする。</p> <p>(4) 教育相談の充実</p> <p>・学校教育自己診断の教育相談関係項目の肯定率目標： 生徒、保護者共に65%以上</p> <p>(5) 国際理解教育推進</p> <p>・語学研修生派遣人数目標 オーストラリア研修30名以上 ロンドン研修10名以上</p> <p>・語学研修実施後の生徒アンケート肯定率 オーストラリア、ロンドンとも目標90%以上</p> <p>・JICAエッセイコンテスト1年生全員応募・</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣・規範意識向上</p> <p>・遅刻件数(12月末)：2318件(△)</p> <p>・学校教育自己診断の教員の生活指導関係項目肯定率：83%(◎)</p> <p>・日々の清掃に加え、特別清掃を9回実施、部室特別清掃2回実施(◎)</p> <p>・地域と連携した清掃活動を3回実施、750名の生徒が参加(◎)</p> <p>(2) 学習と部活の両立</p> <p>・学校教育自己診断における「勉強と部活の両立」の肯定率： 生徒：63%、保護者60%(△)</p> <p>・部活動加入率90%(○)</p> <p>・近畿大会以上の出場以下の通り(◎)</p> <p>近畿高等学校総合文化祭 囲碁部門団体戦出場 近畿高等学校囲碁選手権大会 個人戦出場 近畿大会出場：男子バレー 西日本大会出場：アメリカンフットボール</p> <p>(3) 朝読書の推進</p> <p>・月間平均2冊以上読書する生徒の比率：30%(△)</p> <p>・図書室貸出冊数前年比：76%増 貸出数：1093冊 (4月～12月で比較)(◎)</p> <p>・生徒アンケートで朝読書の肯定率：78%(◎)</p> <p>(4) 教育相談の充実</p> <p>・学校教育自己診断の教育相談関係項目の肯定率： 生徒：66%、保護者：64%(○)</p> <p>(5) 国際理解教育推進</p> <p>・語学研修生派遣人数目標 オーストラリア研修：38名 ロンドン研修：9名(○)</p> <p>・語学研修実施後の生徒アンケート肯定率：オーストラリア、ロンドンとも100%(◎)</p> <p>・JICAエッセイコンテスト1年生全員応募実現。本校が学校賞受賞、生徒3名が個人賞入賞(◎)</p>
<p>学校施設整備・広報活動充実</p>	<p>(1) 学校施設の改修</p> <p>(2) 学校HP等広報充実とSNSリテラシー教育</p> <p>(3) 学校説明会、体験入学等の充実</p>	<p>(1) 学校施設改修</p> <p>① 3年生HR教室にもプロジェクター設置開始</p> <p>② 本館トイレ改修実施</p> <p>(2) HP等広報充実とSNSリテラシー教育</p> <p>① 学生、保護者向けの内容の充実、更新のスピードアップを図る。</p> <p>② SNSの持つリスク等に関するリテラシー教育を実施する。</p> <p>(3) 中学校向け広報活動充実</p> <p>① 従来のオープンスクールに加え、土曜日(土曜講習)を利用した中学生見学会を実施。</p> <p>② 公開授業の実施。</p>	<p>(1) 学校施設改修</p> <p>・プロジェクター設置目標：5教室以上</p> <p>・2年かけて計画した本館トイレ改修を完成させる。</p> <p>(2) HP等広報充実とSNSリテラシー教育</p> <p>・HP週2回以上更新</p> <p>・SNSリテラシー教育講座を生徒・保護者・教員向けにそれぞれ1回以上実施する。</p> <p>(3) 中学校向け広報活動充実</p> <p>・中学生徒の見学会を3回以上実施。</p> <p>・オープンスクールと学校見学会合計1000名以上の中学生招致、本校志望者の増加を図る。</p> <p>・公開体験授業の中学生向け講座を20講座以上開講する。</p>	<p>(1) 学校施設改修</p> <p>・プロジェクター設置：全普通教室に設置完了(◎)</p> <p>・本館トイレ改修2月に完了(○)</p> <p>(2) HP等広報充実とSNSリテラシー教育</p> <p>・HP週2回以上更新を継続維持(○)</p> <p>・SNSリテラシー教育講座を生徒・保護者・教員向けにそれぞれ1回以上実施 (携帯電話会社、通信ソフト企業を講師として実施)(○)</p> <p>(3) 中学校向け広報活動充実</p> <p>・中学生徒学校見学会3回実施</p> <p>・オープンスクールと学校見学会中学生合計1000名以上参加(○)</p> <p>・公開体験授業中学生向け講座数：24講座開講(○)</p>